

災害時の衛生対策を強化しようとして、豊田市は、トラックでの運搬が可能な移動式トイレユニット1基を購入し、10日にお披露目した。自動昇降機を備え、容易に荷台に積載できることから、災害時にトイレが足りない避難所に速やかに届けられるという。

(大谷津元)



↑トラックの荷台の高さまで持ち上がった移動式トイレユニット
 ↓豊田市が新たに導入した移動式トイレユニット。いずれも市役所で

トイレ不足 速やか解消

豊田市、移動ユニット導入

トラック荷台の製造・販売を手がける「メイダイ」(同市青木町)製で、幅約2.5m、奥行き約5m、高さ約3m。ユニット本体に取り付けられた自動昇降機で



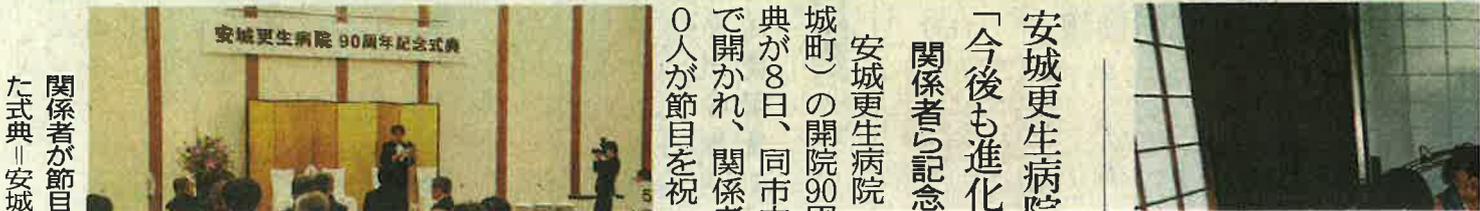
自ら持ち上がり、クレーンなどがなくても荷台に載せられる。

洋式トイレの個室二つを備え、うち1室は1畳ほどの多目的仕様。スロープが取り付けられ、高齢者や車いすでの利用を想定している。発電機や約100回分の清水・汚水タンクを搭載し、停電や断水した場所でも設置できる。

この日、市役所でお披露目され、メイダイの岡田洋一社長らが特徴を説明。車いす利用者の市職員が体験した。太田稔彦市長は「あらためて災害への備えを考えたい」と話した。

導入費は1650万円。上郷地区防災倉庫で保管し、災害時以外にイベントでも活用するという。市は昨年、けん引式の「トイレカー」を導入し、2026年度以降も別型のトイレカーの配備を進める。

茶 南
 アビタ安城南
 グエルサウオーク西尾
 製造元



関係者が節目式典に参列

安城更生病院「今後進化関係者」記念式典が8日、同市で開かれ、関係者0人が節目を祝